



伊勢堂岱遺跡は今から約4000年前の遺跡です。環状列石を中心とした祭祀遺跡で、環状列石が4つも発見されている遺跡は全国で他に例がありません。平成13年に国の史跡に指定されました。

皆さんは伊勢堂岱遺跡と呼びますが、なぜこのような名前がついたか

伊勢堂岱遺跡はユネスコ世界文化遺産への登録が近づいています。このコラムでは、伊勢堂岱遺跡について、発掘・保存など最新の研究を交え、改めて紹介したいと思います。

第1回  
こんな高い山にある神社



▲伊勢堂岱遺跡

国内では遺跡名は原則的に地名に由来することになっています。この遺跡の住所は「北秋田市脇神字伊勢堂岱」なので、伊勢堂岱遺跡と呼ばれるようになりました。

実は昔からもう一つ、七日市地区に伊勢堂岱遺跡が存在していました。こちらの遺跡は七日市の神社付近にあり、かつては神明社遺跡とも呼ばれ、縄文時代の遺跡ですが詳細はわかっておりません。このために平成7年頃までしばらく「脇神伊勢堂岱遺跡」と呼ばれていましたが、県道建設を中止し、遺跡の現地保存が決定したことで、名称から「脇神」をとり、伊勢堂岱遺跡になったわけです。

では、伊勢堂岱という地名にはどんな意味があるのでしょうか。

北秋田市内には伊勢町、坊沢などには伊勢堂、前山には伊勢堂長根など、似たような地名があります。「伊勢堂」は伊勢信仰にまつわる神社(神明社)を指しています。「岱」は「もり」とした山という意味です。つまり、伊勢堂岱は「山の上にある神明社」という意味になります。現在、小ヶ田の神明社は遺跡から東側に約500メートル離れた高台に現存



▲小ヶ田神明社

(小ヶ田神明社) するため、昔は伊勢堂岱の山にあったのではないかと考える郷土史研究者もいます。それにしても、伊勢堂岱という地名は神秘的で、環状列石(ストーンサークル)にふさわしい名称と言えます。

実は他の遺跡でも神道にまつわる地名がみられます。

伊勢堂岱遺跡と同時代の遺跡である大湯環状列石(鹿角市)は「万座」や「野中堂」という地名です。「座」は神社で神様を数える言葉で使います。「堂」は伊勢堂と同じで神社を意味し、現在でも神社が鎮座しております。

伊勢堂岱遺跡や大湯環状列石には、縄文人が遺跡を離れてしばらくして環状列石は少しずつ土に埋まっていったはずですが、しかし、なかなか埋まりきらず、もしかすると地面から石が少し露出していたのでしょうか。

想像の域ですが、縄文時代の後の時代に生きた人々は、石が突き出した景色を神秘的に考え、神明社をつくり、この土地を守ったのではないのでしょうか。

北秋田市学芸員



# 学びの広場

## 笑って、驚いて、学んで!わくわくを体験

~冬の笑楽校(しょうがっこう)2021~

第11回「冬の笑楽校」(共催:北秋地区生涯学習奨励員)が1月6日、市民ふれあいプラザで行われ、北秋田市と上小阿仁村の小学生31名が参加しました。

この日は、美術「パステルアート」や保健「タッピングタッチ」、木育「秋田杉のコースター作り」のほか、社会では市消防署員に学ぶ冬山での遭難救出訓練を体験しました。児童たちは、緊迫した雰囲気の中でビーコンやゾンデ棒を使い登山者の人形が



▲雪に埋もれた遭難者(人形)を救助する児童たち  
埋まった所を探し協力して雪を掘り起こすなど、人命救助に関わる仕事の大切さを学びました。

## 子どもの元気・地域の元気!

~東北地区青少年育成運動活性化研修会~

東北地区青少年育成運動活性化研修会が12月12日に開催され、市町村市民会議の活動発表や講演のほか、子ども伝承芸能発表として福田獅子舞を披露しました。

「子どもたちの今を生きる大人の役割~子どもの元気・地域の元気~」と題した講演では、講師の高橋秀一さんから「子どもは人のことや地域に関わる大人を見ることで、自尊心と肯定感が生まれ、子どもの元気に繋がる。子どもの目線に立ち、見つめる・



▲福田獅子舞保存会による子ども伝承芸能発表  
見守る・見届けることが大事」と話があり、子どもを地域社会で育む大切さを学びました。

## 伊勢堂岱遺跡の魅力あふれる6作品が受賞

~第1回国指定史跡伊勢堂岱遺跡いせどうくんフォトコンテスト表彰式~

令和2年10月31日まで開催していた第1回国指定史跡伊勢堂岱遺跡いせどうくんフォトコンテストの表彰式が12月13日に行われました。最優秀賞は九嶋莉那さん、優秀賞は本間志保さん、保坂洋子さん、櫻庭芳枝さん、藤原好生さん、島田真さんの作品が選ばれました。表彰式では、伊勢堂岱縄文館の中嶋俊彦館長から賞品を贈呈しました。

受賞作品は縄文館内のモニターで鑑賞することができます。(※冬期間、遺跡は閉鎖されますが、縄



▲表彰式に参加した受賞者の皆さん  
文館は開館しています)